

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699500064
法人名	医療法人 徳洲会
事業所名	グループホーム 岬
所在地	鹿児島県大島郡知名町田皆2242番地 (電話) 0997-93-1502
自己評価作成日	平成31年1月29日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年3月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※県道から少し中に入り、静かな住宅外の中にホームはあります。一歩外に出ると地域の方や子供達と声を掛け合うことができる環境にホームはあります。その環境を活かして地域に溶け込んで暮らしています。開設当初から近くのゴミステーションの掃除を利用者と職員の日課とし地域の方々や子供達と顔見知りになり、気軽にホームに立ち寄る関係ができています。岬の自慢は安全な散歩コースがあることです。散歩コースには四季折々の花々が咲き乱れていて、季節を感じる事ができます。県道脇にあるバス停のベンチは地域のお年寄りの休憩場所となっていてi会話を楽しむ事ができます。ホームの近くには公民館・郵便局・ふれあい館・雑貨店・駐在所等々・・・字の中核機能が集まっている便利な環境にあります。

※私達職員は統一したケアを目標に掲げ何時でも同じケアが受けられ不安なく穏やかな暮らしが提供できる事を目的に取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、田皆地区中心地に位置し周辺は、商業施設や駐在所、公民館、郵便局、小・中学校も近くにあり住宅街にありながら静かな環境である。

登下校の子供達と挨拶を交わしたり、毎日のように気軽にホームに立ち寄り、勉強や宿題をしたり利用者と交流している。利用者は、毎日、散歩コースを歩きながら地域の方々と会話したり触れ合う機会があり、地域の方々にも岬の利用者として認識されている。管理者は、折に触れ利用者と一緒に外出するように心がけており、利用者が穏やかな暮らしができることを念頭に置いてチームケアに取り組んでいる。また、島民が馴染みの人も多く、家族とは厚い信頼関係で結ばれている。相談や悩みごとなどは、直接意見交換し出された意見は、職員全員で話し合い、サービスの見直しや質の向上に活かしている。

理念は、曜日ごとに分けられており、ケアの目標になっているため、職員一人ひとりが自己評価し、申し送り時に管理者がケアの実践について確認した上で、理念を唱和し意識統一を図り、職員全員に理念が浸透するよう振り返りの機会を設けている。平均年齢が、87.6歳と高齢であるが、介護方法は利用者の希望や意向に合わせて計画し申し送りは利用者も交えてお茶を飲みながらおこなっている。島独特の空気感があり、利用者を大きく包み込む愛情あふれる対話がおこなわれ本人らしく最期まで安心して暮らせるよう支援しているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り揭示し、朝礼後に唱和することにより、理念に触れ職員間で共有し、日々の実践に繋げる様に取り組んでいます。	理念は、共有スペースなどに見やすく揭示され、曜日ごとに分かれています。また、理念が毎日のケアの目標となっているため管理者が日々確認し、朝、申し送り時に全員で唱和し、振り返る機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と職員で近くのゴミステーションの掃除を日課とし地域の方と触れ合いが持てる様に努めています。天気の良い日には早朝散歩にも出掛け地域との繋がりを大事に取り組んでいます。	散歩を日課にしている利用者も多く、地域の方々も岬の利用者であることを十分に認識し互いの関係性が良く日常的に交流がある。老人会との交流活動も活発に行われ、小学校の運動会や学習発表会への参加、中学生の職場体験や学校帰りの子供が立ち寄り勉強や宿題をするなどして利用者と毎日のように交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の老人会に利用者と一緒に参加し顔見知りの関係づくりに努めています。認知症予防活動等ミニ勉強会を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を持ち事業所報告を行い参加者からの意見、要望や助言を聞きサービスの向上に繋げています。身体拘束廃止に向けて取り組み状況の報告を行いサービス向上に繋げる。	家族は、年度ごとに交代で会議に参加し、出された意見は職員全員で話し合いサービスの見直しや質の向上に活かしている。また、身体的拘束等の適性化のための会議を年3回同時開催し拘束の弊害などについて話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議担当職員に事業所報告を行い協力体制が出来きる様に取り組んでいます。行政からの情報をサービスの資質向上に繋げる様に努めています。	役場や地域包括支援センターとは、町主催の夏祭りへの協力や地区の踊り連として参加するなど連携や協力関係がある。また、大島地区グループホームの管理者同士の意見交換会に参加し、事業所の取り組みを伝えながら情報交換しサービスの質の向上に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針を職員間で話し合い作成し、独自の勉強会を持ち理解を浸透させ身体拘束ゼロに向けて取り組んでいます。自由を奪わず見守りで安全な生活を送れる様に努めています。	身体拘束委員会があり、身体的拘束等の適性化のため指針を整備している。自由に動かれる方もあるが、タイミングを見てさりげなく声かけして、お茶を勧めたり、戸外に散歩やドライブに誘って気分転換をしてもらっている。畳スペースや椅子が要所に設置されており、利用者の休憩や地域の方や職員、家族などのコミュニケーションの場になっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に対する勉強会を施設独自で行っています。虐待をしない見逃さない様に注意を払っています。介護業務にゆとりが持てる体制づくりに努め虐待に繋がらない様に考えて対応しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度に関する研修に参加して学び活用しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約する際は利用者や家族方の不安や疑問点を尋ね十分説明を行い理解・納得して貰える様にしています。利用料・重度化・医療連携・ケアに対する事業所の取り組みについても説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・家族の思いや要望に耳を傾け対応しています。不満や要望は話しやすい雰囲気作りに努め、外部者へ表せれる様に第三者委員を設け、運営に反映させています。	晩酌の相談に応じたり、面会時間を21時まで猶予したりするなど利用者や家族の希望に応えられるよう努めている。管理者や職員は、面会時に意見が出しやすいように積極的にコミュニケーションを取り、出された意見は職員会議で話し合いサービスに活かすようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気軽に話せる様に努めています。職員会議で時間を設け意見や提案を聞き出し職員が声を出しやすい様に努めています。	職員専用の休憩室もあり、手足を伸ばしてリラックスし仮眠もとれる和室がある。休憩時間は、遠慮なく用事を済ませることができるよう職員間の協力関係を築いている。管理者と職員は個人面談を行い、職員との関係性も良好であるが、職員一人ひとりの置かれた家庭の事情や希望などを熟知し、生きがいややりがいをもって仕事に取り組めるよう職場環境を整備している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境を考え業務の見直しを行ったり勤務作成も希望を聞き作成しています。資格を獲得したい職員には勉強会を設け応援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は働く中で学ぶ事の必要性を理解されており、業務に支障きたさない限り研修の機会を与えています。島内で開催される必要な研修には、全職員が受講が出来る様に勤務調整し対応しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内・島外の同系業者との交流もあり事例を通して経験上の助言を貰い参考にし、また島内のグループホームの交換研修の場もありサービスの質の向上に繋げる様に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談を行い、心身の状態や生活状況を把握し職員間で共通理解して、受け入れる様になっています。不安や要望を聞き安心して利用できる様に努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始する段階で家族の困っている事、不安な事、求めている事等々傾聴し受け止める努力をしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族にとって必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含め考え、本人にとってより良い支援に繋がる様に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、常に寄り添い喜怒哀楽を共にし傾聴に努め支えあう関係を築き穏やかに過ごして貰え取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	これまでの本人と家族との関係を理解し、親子のより良い関係が築いていけるように支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が、これまで大切にしてきた馴染みの関係が断ち切れないように支援しています。懐かしい風景が観られる様に外出し支援をしています。	管理者などが用事で外出する時は、本人の同意を得て一緒に外出するようにしている。本人が住んでいた住居跡や親戚宅、墓参り、岬で亡くなった方の墓参りなどにも職員と一緒に同行している。知人、友人、地域の方や子ども達の訪問も日常的にあり馴染みの関係になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、ひとり一人が孤立せずに利用者同士が仲良く過ごせる様に職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス（利用契約）が終了しても継続的な関わりを持ち家族との関係を断ち切らない様に努めています。終了しても殆どの家族がホームに顔を出してくれています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らし方の希望を意向を把握し職員間で共有し、本人の思いが叶えられる様に本人本位の個別ケアに努めています。	職員は、朝礼やカンファレンスなどで本人の思いを共有し情報交換している。また、本人の言葉や表情などを参考に本人の思いを汲み取り介護計画書に記載、支援経過に記録を残し情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や生活環境の把握に努め これまでの暮らしの延長線上にホームの暮らしであると考へ本人本位を支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者が楽しく一日を過ごせる様に心身の状態を把握し、その個々の力に合わせて有する力を発揮して貰える様に取り組んでいます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすため課題分析し抽出された生活全般の課題を本人・家族・職員で話し合い、その人らしく生活できる様に意見を反映し計画書を作成しています。現状を把握し計画書の見直しにも活かしています。	介護計画書は、担当者が解りやすく説明しているが、遠方の方には会議開催前に電話で説明し同意をもらい計画するよう努めている。短期目標の期間ごとにモニタリングを実施、見直しも柔軟におこなっている。本人が意欲的に取り組めるプログラムへの提案、サービス内容だったり、本人らしく暮らすしていくための目標設定になっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し健康面や日々の暮らしを記録しています。誰が見ても身体状況の把握が出来る様に見やすい様に工夫もしています。日々の記録は計画書の見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の時々の状況や要望に応じて柔軟な対応をしています。本人と家族の立場を理解し、出来る限りの要望を聞き支援を心掛けています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して住み慣れた地域の中で繋がりを持ち暮らして行ける様にボランティアをお願いしたり豊かな暮らしが出来る様に取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同系列病院への受診と決めつけずに、本人や家族の希望を第一に考え適切な医療が受けられる様に支援しています。	本人や家族が希望する医療機関となっているが、協力医は、毎月訪問診療している。それ以外の方は、外来受診であるが、24時間医療連携が図られ適切な医療を受ける体制が整っている。また、歯科医の訪問診療により口腔清潔に努められるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療の契約に基づき、日常の健康管理や医療面での相談・助言を気軽貰えています。同系列なので適切な受診や助言を貰い支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	安心して入院が出来る様に面会を心掛け又入院によるダメージを極力防ぐために医師と相談しホームで対応可能な段階で早期退院へ繋げるよう家族とも情報交換しながら退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については早い段階から利用者や家族と話し合い事業所の出来る事や出来ない事を家族に説明し、かかりつけ医と共にチーム支えています。職員に負担にならない様に家族協力も得てチームケアで支えています。	重度化や看取りの指針があり、看取りの経験も豊富にあり、直近でも看取りをしている。職員は、看取り後、意見交換し今後の看取りに経験を活かすとともに、家族にはグリーフケアを実施している。契約時に看取りを希望される方も多いため、管理者は、段階に応じてケアの方向性を把握し、利用者、家族の意志確認を文書化したいと検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	同系列の病院の勉強会へ参加したり、島内の研修会また独自の勉強会で定期的に勉強会を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震の際の避難訓練を地域の方も参加して、夜間を想定して年2回行っています。漏電や消火器の点検又プラグ周辺やホームの外周りの掃除を定期的に行っています。災害時の食料や水を備蓄しています。</p>	<p>地域の協力体制があり、夜間想定にて避難訓練を実施、定期的に自己点検している。毎年、台風の脅威があり、職員の安否や翌日の勤務者の確保のため、台風接近の際は、勤務変更をするなど職員に協力をもらっている。日頃から、野菜類や乾物類は豊富に備蓄されており、ペットボトルの水、米も確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳やプライバシー保持についての研修会に参加したり独自の勉強会も行っています。声掛けや言葉使いに注意し対応しています。	職員は、地元言葉で語りかけるがプライバシーに配慮し失礼にならないよう気をつけている。接遇マナーなどの研修を行い、馴れ合いになったり人格を損ねるような対応がないよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望に沿い起床や就寝・食事や入浴は個別支援をしています。意思表示の困難の方は表情から読み取ったり文字盤を使ったり筆談したり自己決定出来る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人が、その日をどの様に過ごしたいのか希望に添える様に努めています。散歩や買い物など利用者の思い優先に個別支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望の服が着られる様に更衣の際や入浴時の準備は職員と利用者で聞きながら準備をしています。髪は本人の望みを聞きカットして貰っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が好む調理を心掛けて作っています。地域の方が収穫した野菜がよく届きます。下ごしらえを職員と一緒にしています。茶碗拭きも日課となっています。	朝食は、利用者の起床に合わせて食事を提供、地域や職員からの差し入れの野菜中心の献立を作成し郷土料理も取り入れ日曜日朝は、パン食、誕生会はカレーやシチューにして休みの職員も一緒に会食している。年1回、手作り弁当を持って外出したり、家族に協力をもらい外食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量は、ひとり一人記録し摂取量が確保出来る様に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前の嗽や毎食後歯磨きは声掛けを行い本人の力に応じて見守りや介助を行っています。口腔内ケアの重要性を利用者と職員が理解し習慣化されています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ排泄パターンを把握し個々の利用者に合わせ誘導支援をしています。利用者の表情やタイミングを見逃さずトイレ誘導を行っています。清潔保持に努めています。	夜間にポータブルトイレを併用される方がおられるが、大半の方は昼夜トイレを利用している。在宅時からの排便習慣を大切に見守りがされており、本人も生活習慣を乱されることなく声を出して排便している。排泄の失敗があっても更衣や入浴により清潔が保てるよう支援がされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の多い食材を使う様に心掛け、毎日の牛乳や軽運動を日課とし水分も多めに飲んで貰える様に工夫し自然排便が出来る様に心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっていますが、利用者のその日の体調や気分を聞きながら支援しています。嫌がる方は時間を置き再度声掛けしたり日を改めたり柔軟に対応しています。	利用者の希望や必要性に応じて、入浴の時間や回数を検討し、タイミングをみて入浴支援をおこなっているが、基本的には週2回入浴介助している。シャワー浴の方が多く、必要に応じて足浴を実施、保湿剤を塗布してスキンケアし、脱衣は転倒予防のため浴室内で実施している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動を促し生活のリズムを整え、寝付けない時は職員と行動を共にし、牛乳など飲み物を飲みながら傾聴に努め不安を取り除くように支援をしています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や用量についてはファイルに綴り何時でも確認できる様にしてあります。服薬の服用後は症状の変化にも注意し、変化の際は管理者へ報告する様にしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり一人の力を発揮して貰える様に見極め喜びのある日々が過ごせる様に役割を与え負担にならない様に活性化に繋げています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は日常的に散歩に出掛け地域の方との繋がりを大事にしています。年に2回は地域のボランティアの協力を貰い全員揃って散歩に出掛けています。お墓参りや遠出の買い物、ドライブに出かけ個別支援もしています。	天候を見ながら日課の散歩をしたり、年2回は、町の協力による地域ボランティアと散歩支援を全員揃って実施している。また、病院受診や墓参り、ショッピング、ドライブに出かけている。地域との関係性も良く、小・中学校の行事へ参加したり、地域の夏祭りなどに出掛けるなど外出の頻度も多い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ひとり一人の力に応じて、本人が管理できる少金額を家族から貰い日常的に好きな物を自分の財布と相談しながら買える様に支援しています。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ペンや便せんを準備してあります。時折、電話で声の便りを届ける様に支援しています。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共同空間は心地よく過ごせる様にソファを置いたり、壁には季節を感じられる様に利用者と職員で壁画を作り飾っています。玄関の近くには畳間があり静かに過ごしたい時や利用者と家族が語らいの場として又読書の場として使っています。	玄関を入りすぐに腰掛けの畳スペースがあり、面会や子ども達の勉強や宿題の場として使用されている。トイレなどの水回りを囲むよう回廊になっており、畳コーナーがあって利用者が休憩に活用している。季節の生花が活けられ、壁には歌詞や利用者の作品、行事予定表が掲示されている。職員の休憩室もあり、よく清掃され臭いもなく生活感がある共有スペースである。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共同空間の中にも一人で過ごせる場所を設け又仲の良い利用者同士が集える様にソファを設けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたタンスや本人が以前使っていた品々又仏壇等を受け入れ持ってきて貰っています。安心と居心地の良さを感じて過ごせる様に努めています。</p>	<p>居室には、暖簾が掛かっておりプライバシーに配慮されている。ひ孫の写真や位牌、使い慣れたタンスを持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ひとり一人の持っている力を見極め、職員間で話し合い自立に繋げる様に考え対応しています。目印しで居室が解る工夫や手すりを使い自立できるように工夫しています。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない